

※参加者の皆様から事前にいただいた意見・要望の中で、当日意見交換ができなかった案件の回答です。

④その他		
意見・要望等		回答要旨
1	○子ども食堂について 支援やあり方など、どのように考えているか。	・経済的な理由などにより、食事を十分に摂ることができない子どもたちに食事を提供することを当初の目的として、全国的に広がりを見せています。 ・生活様式が多様化し、経済的な理由以外にも、家庭内の問題や地域社会との繋がり希薄化など、子どもに関わる課題も複雑化していることから、学校でも家庭でもない第三の居場所をつくることを目的とした「子どもの居場所づくりの推進」として、支援を行っています。 ・地域とのつながりの窓口ともなる子ども食堂を地域づくりの一環として捉え、引き続き支援していきます。 目標：小学校区に1か所 R6.9現在：18か所／28小学校区 開設数：24会場
2	○子どもや保護者向けのイベントを山間地で積極的に開催してほしい 山間地での子育ての魅力を、移住推進を含め県外だけでなく市街地の子育て世代の皆さんに広めたい。 地域の人にとっては新たな交友関係や交流の場として、市街地に暮らす人にとっては自然豊かな環境での子育ての魅力を感じてもらうために、市で開催している子どもや保護者向けのイベントを山間地でも積極的に開催しませんか。（マルシェ、親子で自然散策、アウトドア体験、コンサート、アートイベント、ワークショップなど）	現在、実行委員会が開催している子ども向けのイベントである、子どもまつりやネイチャリングフェスタはアルプス公園で実施することが定着しているため、他の場所での開催は難しいですが、松本市では、就園・就学前の児童とその親を対象に子育て支援の一環として自主的に行われる講演や講習会等の事業に要する経費に対し、年間3万円を上限とした補助金とした補助金制度があります。 この松本市地域子育て支援事業補助金をさらにPRし、各地域での子育て支援事業に対し、継続して支援を行っていきます。